

## 特集「2014年度人工知能学会全国大会 (第28回)」にあたって

塚田 元 (実行委員長, NTT), 鷲尾 隆 (プログラム委員長, 大阪大学)  
丸山 文宏 (大会委員長, 株式会社富士通研究所)

参加できなかった方々に全国大会を体験いただけるよう、今年も全国大会の特集を企画した。また、大会に参加された方も、大会の規模が大きくなっていることから、すべての企画に参加することが不可能となってきている。本特集を通して、参加できなかった企画について理解を深めていただけたらと願っている。

第28回全国大会は、例年より一月早い平成26年5月12日(月)～15日(木)に愛媛県松山市で開催した。開催に当たっては、丹下健三氏の設計による「ひめぎんホール」をメイン会場に、その別館や近くにある医療関係の施設(看護会館・看護研修センター)をサテライト会場として活用した。三千年もの歴史を誇る道後温泉に宿泊しながら、そこから歩いて通えるという好立地での開催となった。

大会では人工知能の専門家だけでなく最新の話題に触れられるように、公開イベントや特別セッションを充実させている。これらは大会参加者だけでなく、一般の方も参加できるように無料公開している。これらについて、各イベントやセッションの代表の方から、その様子を報告する\*1。

今年も魅力的な特別講演、招待講演がそろった。嘉悦大学古川康一先生には特別講演の概念を超えた演出でサプライズをいただいた。サイボウズ(株)青野慶久社長には、愛媛出身の新進気鋭のIT企業代表として、元気が出るお話を聞かせていただいた。地元愛媛大学の吉井稔雄先生には、交通工学について基礎から最新の話題までわかりやすく解説していただいた。各講演の詳細については、招待・特別講演担当から報告したい。

本学会の全国大会は、学会側が主催する一般セッションやインタラクティブセッションだけでなく、代表者がテーマを設定して自ら運営するオーガナイズドセッションや近未来チャレンジという仕組みをもっている。このように参加者自ら大会運営に関わることでできる仕組みが、活気之源の一つとなっている。担当者からの報告で、各セッションの魅力をお伝えしたい。

ここ数年、確実に人工知能ブームが来ている。この要因の一つに、人工知能が産業界で使われるようになってきて、多くの企業が注目していることがあげられる。この動きをますます加速させるため、全国大会に対する企業参加推進の取組みを報告する。

本特集には組み入れていないが、メンタリング・学生企画については、今号の学生フォーラムに同時掲載されているので、合わせてそちらもご覧いただけたらと思う。

\*1 映画「トランセンデンス」と連携した特別セッションについては、映画公開日の関係で7月号に掲載している。詳細はそちらを参照されたい。

残りのスペースで松山大会における大会委員の取組みを簡単に報告し、運営側が何を考えているかお知らせしておきたい。全国大会は、2年前の山口大会から、毎年200人ずつ参加者が増えており、富山大会ではついに1000人を超える方に参加いただいた。多くの学会が会員数減少で悩む中、本学会の会員数は2013年度より減少から急激な増大に転じ、人工知能ブームのまっただ中にある。

大会参加者の増加は、大会の活性化という点で喜ばしい反面、会場の確保やプログラムの編成を難しくするなど、大会運営上さまざまなひずみを生じさせている。そこで今大会では、国際オーガナイズドセッションを秋に開催されるIsAIに統合し、複数口頭発表を禁止するなど、発表数を抑える措置を講じさせていただいた。一部の発表者の方にはご不便をおかけしたが、運営上やむを得ない措置であったことをご理解いただきたい。このような措置を講じたにもかかわらず、発表件数は620件(前年度は696件)、参加者数は1005名(同1017名)と、前年度と同様の盛会となった。

ここ数年の全国大会の「うり」の一つとして、国際会議クラスの盛大な交流会がある。予算と折合いをつけながら、どのような企画で参加者を驚かせようかと毎年知恵を絞っている。松山大会では、地元の“うまいもん”に舌鼓を打ちながら松山市の夜景を一望できる松山城本丸広場でB級グルメ大会を開催すべく、2年間かけて準備してきた。しかし、アウトドア企画の難しいところで、生憎の大雨によりその魅力をほとんどお伝えできなかったのが残念である。幸い、交流会が終わって雨が上がったときに、霧に煙る幻想的な松山城に出会うことができた。大会運営の思い出として、写真を掲載させていただくことをお許し願いたい。

来年は、5月30日(土)～6月2日(火)に函館で第29回全国大会を開催する。また多くの皆さんに参加いただき、研究議論に花を咲かせていただけたら幸いである。



図1 霧に煙る松山城. Xperiaで撮影